



春の日を浴びて—ホルトケノザ

新入生諸君 入学おめでとう

校長 鈴木 弘

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。立教池袋中・高校は、皆さんのご入学を心から歓迎いたします。

本校を含む立教学院はアメリカ聖公会より宣教師として派遣されたチャニング・ムーア・ウィリアムズ主教によって創立されました。

一八七四年（明治七年）ウィリアムズ主教は築地の外国人居留地の一角（現在の聖路加国際病院所在地）に「セントポールズ・スクール（立教学校）」と呼ばれる私塾を開校されました。当時わずか八名で出発した聖書と英語を教える、この一私塾が今日の私たちの立教学院の原点です。従いまして今年度は立教学院創立一四二年になります。

一八九七年（明治三〇年）に行われた本校の前身であります立教中学校の第一回入学式から数えますと、君たちは二八回目の入学生となります。本校は日本のキリスト教学校の中でも非常に古い歴史をもっています。君たちも本日より、この本校の歴史のページに加わることにとなります。

さて君たちが手にする教科書の中で、本校が創立以来、引き続き最も大切にしている教科書があります。それは聖書です。聖書には「自分を愛するように隣人を愛しなさい」という言葉があります。本日ここに君たち一人ひとりに神様の不思議な導きでここに集まり「隣人」となりました。「隣人」とは「友達」を大切にすることが、まさにこの「自分を愛するように隣人を愛しなさい」ということを実践する第一歩であると思います。

本校の教育は「キリスト教に基づく人間形成」を目的としています。一人ひとりの生徒は、神様から愛されているかけがえのない存在であり、それぞれの個性は互いに尊重されなければなりません。それぞれ異なる環境で、異なった資質を持って生まれて来た一人ひとりが、互いに尊重し合い、共に学び生活することが大切です。本校の「キリスト教に基づく教育」とはこれらのことを土台に据え、

目標

入学おめでとうございませう。それぞれが様々な生活の土台を築きます。この日、立教池袋中・高校で新しい環境で過ごすことは期待もあれば不安も大きいことかもしれません。

皆さんには、これから先、偶然にも集まった仲間と長い時間を過ごす中で、一人ひとりが自慢できるものを見つけてほしいと思います。この日、立教池袋中・高校生活を送ってほしいと思います。自分の得意な事を伸ばし、自分の力を発揮できるように努め、自信を持って取り組むことができ、仲間と協力して、自分の力を発揮できるように努め、自信を持って取り組むことができ、仲間と協力して、自分の力を発揮できるように努め、自信を持って取り組むことができます。

中

一組

主任

よ

り

基本を大切に

新入生の皆様、入学おめでとうございます。まさに今、君たちは立教池袋中学校という名の大きな舞台に立ったわけでありませう。一人ひとりがどのような姿勢を見せてくれるのか、今から楽しみでなりません。

さて、中学校生活をより有意義なものにするためには、この分野においても「基本」が大切だと思えます。

生活面ではまず、挨拶や返事をしっかりとできるようにしましょう。それから身だしなみもきちんとしましょう。

学習面では授業態度はもちろん、予習復習をする習慣を身につけよう。

そして一番大切なこと。それは「思いやり」のある言動を常に意識すること。充実した三年間であるように心から願っています。

新たな出会い

入学おめでとう。新たな出会い、みんなを成長させてくれる刺激をもたらし、仲間と協力して経験を積んでいく。仲間と協力して経験を積んでいく。仲間と協力して経験を積んでいく。

立教での学びの旅

入学おめでとう。立教で過ごす時間が、将来の可能性の軸を築いてくれます。この日、立教池袋中・高校という学校には三つの良さがあります。一つ目は、自立した自由な人間を育てようとする意図。二つ目は、自分勝手という意図。三つ目は、自分勝手という意図。三つ目は、自分勝手という意図。

自分の足で歩け

高

一組

主任

よ

り

タネを蒔く

大人になっても「学び」の機会はずっとある。しかし、自分の選択に限らず、多種多様な「学び」のタネを蒔くことが、人生を豊かにする。高校生の時期に最も与えられるべきは、実と虚、花と実、そして、自分自身の成長を促す「タネ」を蒔くことである。

本当の「かっこ良さ」

高校生になると行動範囲や友人関係も広がり、中学生の時よりも、自分が周囲からどう見られているかをより意識するようになる。客観的に自分を高めること、そして、より自分を高めることを勧めていく。かっこよさを勧めていく。かっこよさを勧めていく。

締めるところは締める！

私の高校生活は本当に楽しかった。あの頃の生活が、後の大学生活よりも格段に楽しかった。男だけ故に、自由な雰囲気の中、それだけが思い思いに過ごしていた。ただ、「締める」ところは締める。集団で、普段はチャラチャラしているような、いざとなれば協力するし、みな押さえ所はきちんと押さえていた。校則なんてものは無いに等しかった。結構大人だったのかも。結構大人だったのかも。結構大人だったのかも。

心より入学おめでとう

心より入学おめでとう。心より入学おめでとう。心より入学おめでとう。心より入学おめでとう。心より入学おめでとう。心より入学おめでとう。

中学新入生のために —心がけて欲しいこと—

小学校時代とちがって交友関係も広がります。放課後のクラブ活動、生徒会活動などで下校の時間帯も変わり、また、授業科目の増加で、家庭での予習、復習の量も増え、そのための時間も必要になってきます。これまでの生活のリズムを、早く中学校生活のリズムに切り替えなければなりません。この切り替えがスムーズにいかないと、遅刻、忘れもの、授業態度、そして持ち物や服装に影響が現れてきます。

① **意欲的・積極的な生活**
自分なりのしっかりと目標を持ち、毎日を生き生きと意欲を持って生活し、だんだん無気力な生活におちいらぬように!!

② **規則正しい生活習慣**
新しい中学校生活に慣れるまでは疲れやすいものです。早寝早起きを心掛け、健康管理に気をつけ、遅

③ **何事にも集中力を**
遊びと勉強の「けじめ」が大切です。貴重な時間を最大限有効に使う工夫をしましょう。特に授業に対する集中力を!!

④ **忘れ物防止のために**
本校では、各種の提出物が多いので、教具教材はもちろんのこと、提出物等については期限をしっかりと守って下さい。メモ帳を一冊用意して、整理のメモをとる習慣を身につけて下さい。約束を守れることは生活の基本です。

⑤ **友人を大切に**
自分のわがままを抑え、困っている人や弱い立場にある人に優しい思いやりの気持ちを持つようにしましょう。お互い尊重し合ひ、友人を大切にするには、自分の学校生活を楽しくする原動力になります。

⑥ **学校生活を積極的に**
充実した学校生活は、学習活動、クラブ活動、生徒会活動のバランスによって成り立ちます。特性、適性を十分考え、自分の意志で

⑦ **「朝の読書」の習慣を**
読書は心の糧と昔から言われています。一年生では、朝の八時一〇分から二〇分まで、クラスにおいて「朝の読書」を実施しています。図書館や先生方から推薦されたよい本を自分からすすんで読んでいきましよう。忙しい朝の十分間をぜひ、「心の糧」の時間としてください。

⑧ **家庭での役割も**
中学生になったのを機会に、今まで親に頼っていたことを自分の仕事に切り替え、家族の一員としての立場を自覚し、自らの責任において、その役割をしっかりと果たして下さい。自分のことを自分で行う身辺的な自立のできないものは、人格的な自立もできないものです。

⑨ **学校生活の心得**
学校の秩序を維持するためにいろいろな規則があります。新入生諸君はルールを守って、楽しい学校生活を送りたいものです。
(別紙のプリントをよく読んで下さい。)

決定し、積極的に参加したものです。この項については他の場で詳しい説明がありますので、参考にして下さい。

【学校時】
始業・終業などの、時間の区切りは次の通りです。
※水曜日は朝礼のため始業は八時です。

始業	8:20
学活	8:20~8:30
1	8:30~9:20
2	9:30~10:20 (モーニングブレイク)
3	10:35~11:25
4	11:35~12:25 (昼休み)
5	13:10~14:00
6	14:10~15:00

決定的に、積極的に参加したものです。この項については他の場で詳しい説明がありますので、参考にして下さい。

【教科担任制】

教科	時数	担当
国語	4	廣瀬・山口(啓)・石田
社会	3	重原
数学	4	伊藤
理科	3	宇津木
音楽	1	西澤・村林
美術	1	中仙道
保健	3	古賀(賢)・齋藤
技術	2	山口(弘)
英語	7	綾部・小林・菊池・鈴木(真)
英語	Long	Long
聖書	1	市原
礼拝	1	市原・鈴木(利)・組主任
学活	1	組主任

【弁当】
中学校では給食がありませんので、必ずお弁当を持参して下さい。なおカフェテリアでは、パンや牛乳、おにぎりなどを販売していますが、これはあくまで、弁当を忘れたり、持参できなかったときの便宜的処置です。育ち盛りの中学生には、栄養の点から考えても、手作りのお弁当が必要だというのが、本校の方針です。もし忘れた場合には、午前中の休み時間のうちに、カフェテリアで代金を払って購入することになっていきます。

【欠席の場合】
朝八時〜八時一〇分(水曜日は十分程早めに)までの間に学年の先生に連絡して下さい。
職員室直通の電話番号は東京〇三
※三九八五二二七三
(中一・中二)
三九八五二二七一四
(中三・高一)
三九八五二二七二五
(高二・高三)

【保健室だより】
開設時間—八時〜一時五〇分(土曜日は一三時二〇分)。ただし、一二時二五分〜一二時四〇分は緊急の場合のみ。
▽利用方法—具合の悪いところをはっきり言って指示に従うこと。また、処置を受けた人は必ず名簿に記入すること。

【入校期訓練】
新入生諸君は、七日(火)〜十日(金)までを、学校生活に慣れる期間として、授業を行わず、担任から学校生活の案内などを行います。

【保護者の御案内】
前期の行事予定は、別紙プリントを参照して下さい。早速ですが、四月十一日(土)午後二時三〇分より各組教室にて、第一回の組別保護者会を行います。ご出席下さい。

【相談室から】
ひとりでは悩まず相談しよう
立教池袋中高には、皆さんの心の整理や問題解決の援助をするために相談室があります。学習や進路のこと、家族や友人などの人間関係のこと、自分の健康や性格のことなど、どんなことでも相談に来てみて下さい。内容についての秘密は守られます。
相談申し込みは保健室で受け付けます。

【今年度の福音書】
復活したイエスが、ユダヤ人の追及を恐れて家に閉じこもっていた弟子たちの真ん中に突然現れ、彼らに語る平和の言葉。
春は新しく何が始まる希望の季節。しかし希望は不安と背中合わせでもある。未来に対して無力な人間にとって、その未来が主の守りのうちにある、という信頼は何にも代えがたい支えである。恐れではなく、信頼をもって、この新しい二〇一五年度を歩んでいこう。

【今年度の福音書】
復活したイエスが、ユダヤ人の追及を恐れて家に閉じこもっていた弟子たちの真ん中に突然現れ、彼らに語る平和の言葉。
春は新しく何が始まる希望の季節。しかし希望は不安と背中合わせでもある。未来に対して無力な人間にとって、その未来が主の守りのうちにある、という信頼は何にも代えがたい支えである。恐れではなく、信頼をもって、この新しい二〇一五年度を歩んでいこう。

【今年度の福音書】
復活したイエスが、ユダヤ人の追及を恐れて家に閉じこもっていた弟子たちの真ん中に突然現れ、彼らに語る平和の言葉。
春は新しく何が始まる希望の季節。しかし希望は不安と背中合わせでもある。未来に対して無力な人間にとって、その未来が主の守りのうちにある、という信頼は何にも代えがたい支えである。恐れではなく、信頼をもって、この新しい二〇一五年度を歩んでいこう。

【今年度の福音書】
復活したイエスが、ユダヤ人の追及を恐れて家に閉じこもっていた弟子たちの真ん中に突然現れ、彼らに語る平和の言葉。
春は新しく何が始まる希望の季節。しかし希望は不安と背中合わせでもある。未来に対して無力な人間にとって、その未来が主の守りのうちにある、という信頼は何にも代えがたい支えである。恐れではなく、信頼をもって、この新しい二〇一五年度を歩んでいこう。

【今年度の福音書】
復活したイエスが、ユダヤ人の追及を恐れて家に閉じこもっていた弟子たちの真ん中に突然現れ、彼らに語る平和の言葉。
春は新しく何が始まる希望の季節。しかし希望は不安と背中合わせでもある。未来に対して無力な人間にとって、その未来が主の守りのうちにある、という信頼は何にも代えがたい支えである。恐れではなく、信頼をもって、この新しい二〇一五年度を歩んでいこう。

【今年度の福音書】
復活したイエスが、ユダヤ人の追及を恐れて家に閉じこもっていた弟子たちの真ん中に突然現れ、彼らに語る平和の言葉。
春は新しく何が始まる希望の季節。しかし希望は不安と背中合わせでもある。未来に対して無力な人間にとって、その未来が主の守りのうちにある、という信頼は何にも代えがたい支えである。恐れではなく、信頼をもって、この新しい二〇一五年度を歩んでいこう。

【今年度の福音書】
復活したイエスが、ユダヤ人の追及を恐れて家に閉じこもっていた弟子たちの真ん中に突然現れ、彼らに語る平和の言葉。
春は新しく何が始まる希望の季節。しかし希望は不安と背中合わせでもある。未来に対して無力な人間にとって、その未来が主の守りのうちにある、という信頼は何にも代えがたい支えである。恐れではなく、信頼をもって、この新しい二〇一五年度を歩んでいこう。

【今年度の福音書】
復活したイエスが、ユダヤ人の追及を恐れて家に閉じこもっていた弟子たちの真ん中に突然現れ、彼らに語る平和の言葉。
春は新しく何が始まる希望の季節。しかし希望は不安と背中合わせでもある。未来に対して無力な人間にとって、その未来が主の守りのうちにある、という信頼は何にも代えがたい支えである。恐れではなく、信頼をもって、この新しい二〇一五年度を歩んでいこう。

【今年度の福音書】
復活したイエスが、ユダヤ人の追及を恐れて家に閉じこもっていた弟子たちの真ん中に突然現れ、彼らに語る平和の言葉。
春は新しく何が始まる希望の季節。しかし希望は不安と背中合わせでもある。未来に対して無力な人間にとって、その未来が主の守りのうちにある、という信頼は何にも代えがたい支えである。恐れではなく、信頼をもって、この新しい二〇一五年度を歩んでいこう。



十 今月の聖句
弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。
(ヨハネによる福音書 20章19節)

復活したイエスが、ユダヤ人の追及を恐れて家に閉じこもっていた弟子たちの真ん中に突然現れ、彼らに語る平和の言葉。
春は新しく何が始まる希望の季節。しかし希望は不安と背中合わせでもある。未来に対して無力な人間にとって、その未来が主の守りのうちにある、という信頼は何にも代えがたい支えである。恐れではなく、信頼をもって、この新しい二〇一五年度を歩んでいこう。